

静岡市立東豊田中学校 職場体験学習レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年5月29日(月)

静岡市立東豊田中学校の2年生 齋藤麻梨子さん、近藤理子さんの2名が、5月24日(水)～26日(金)の3日間、職場体験学習に取り組みました。

最初に、センターの業務である発掘調査や出土品の保存処理などについてのガイダンスを受けた後、展示室をはじめ、作業スペースのミドルヤードも見学しました。緊張しながらも真剣な態度で説明を聞いていました。いよいよ仕事の体験が始まりました。

◎出土品(木製品)の保存処理



出土木製品の保存処理を体験しました。木製品の欠けた部分に補填材を調合して注入し、形状に合わせて研磨器を使って整形し、絵の具を使って周囲の色に合わせて彩色をするまでの一連の修復作業を体験しました。

◎古代体験学習への補助支援



古代の人々の体験学習でセンターに来訪した小学生のための火起こし体験メンテナンスと準備を手伝いました。

◎出土品(注記・接合)の整理作業



まずは、出土した土器の汚れを水洗いで落とします。乾いたら、いつどこで出土したのか示す記号を書き込む注記という作業を行います。

パズルのように一つ一つの土器片を手にとり、合うものを探して接着していきます。根気のいる仕事でしたが、集中して取り組みました。

◎図書整理



全国から送られてくる発掘調査の報告書を各県ごとの書架に整地押ししました。

たった3日間の体験でしたが、発掘から保存修復、報告書の整理までいろいろな仕事があることや社会で働くために必要なことなどを学ぶことができたようです。